

科として重点的に取り組んでいる。介護福祉士としてより良いケアをするために、高齢者・障がい者のみならず家族などとの信頼関係を築くことと、チームケアの一員として職員間の人間関係づくりも重要であることから、学生間の人間関係づくりを基盤において早い時期から仲間づくりができるように配慮している。

特に1年次の地域生活と文化、地域交流演習では、生活経験を豊かにするとともに人間関係形成能力の向上を目指して、仲間づくり、他者理解・自己理解のグループワーク、地域の高齢者との交流、郷土食づくり、花壇づくり、ボランティアなどの活動に取り組んでいる。

初年度教育でチューターのメンバーは、入学から卒業までの基礎集団となる。学生はそれぞれのチューターの教員による学習上の相談や生活全般についてのきめ細かな指導をうけることができる。

7) 学習支援

GPA (Ⅶ. 履修の手引き 7. GPA 制度について参照) 2.0 未満の学生または授業に(遅刻・欠席が多く)集中していない学生は学修支援・生活支援を受ける。

- (1) チューター教員と個人面談を受け、学期を振り返る。
- (2) 振り返りシートを記入し自身を客観的に見つめる機会を設ける。
- (3) 本人・チューター教員・学科長の3者面談を行う。
- (4) 問題点を明確にし、学科・学生部・家族との連携を密にし改善策を考える。
- (5) 自分自身の目標を設定し、それに向けての努力度・達成度について月に1回程度チューター教員と面談する。また専任教員により、科目に関する個別指導を受ける。

5. カリキュラムマップ

1) 松本短期大学の「5つの柱」と「5つの到達目標」との関係

「5つの到達目標」を達成するために3学科共通の枠組みである「5つの柱」を土台とし、全科目を構成している。また、これらの統合である「介護実習」で、実践的で貴重な学びへとつながるようにしている。(図3 カリキュラムマップ参照)

到達目標(DP)	(1)温かい心と豊かな感性を備え、人への深い関心をもち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができる。	(2)介護を必要とする人の自立支援とその人らしい生活を支えることのできる専門的知識と技術を修得している。	(3)根拠に基づいた介護過程の展開ができ、質の高い利用者本位のサービスを考えることができる。	(4)常に問題意識をもち、介護実践の質的な向上や介護をめぐる課題について探求し、より良い介護を追求できている。	(5)介護実習や地域交流等で、多職種との連携・協働や地域に貢献する必要性を理解できている。	
卒業	後期	<input type="checkbox"/> 介護総合演習Ⅳ ◎人間の尊厳と自立 <input type="checkbox"/> 人間関係とコミュニケーションⅡ △人間の発達と心理的支援	△キャリアデザインⅢ <input type="checkbox"/> 生活支援技術Ⅵ ◎障害の理解Ⅱ <input type="checkbox"/> 医療的ケアⅢ <input type="checkbox"/> 医療的ケアⅣ	<input type="checkbox"/> 介護過程Ⅲ <input type="checkbox"/> 介護過程Ⅳ	◎社会保障と人間の生活	◎介護の基本Ⅳ
	前期	<input type="checkbox"/> 介護総合実習 △介護特別講座Ⅱ				
2年次履修	後期	△キャリアデザインⅠ ○生活支援技術Ⅴ	△キャリアデザインⅡ ◇介護の基本Ⅲ <input type="checkbox"/> コミュニケーション技術Ⅱ <input type="checkbox"/> 福祉住環境と生活支援 <input type="checkbox"/> 障害の理解Ⅰ <input type="checkbox"/> 医療的ケアⅠ	<input type="checkbox"/> 介護過程Ⅱ <input type="checkbox"/> 認知症の理解Ⅱ	◎社会保障論Ⅱ ○医療的ケアⅡ	
	前期	<input type="checkbox"/> 個別援助技術実習 <input type="checkbox"/> 地域介護実習 <input type="checkbox"/> 介護総合演習Ⅱ				
1年次履修	後期	△初年度教育Ⅱ △キャリアデザイン入門	△キャリアデザインⅡ ◇介護の基本Ⅲ <input type="checkbox"/> コミュニケーション技術Ⅱ <input type="checkbox"/> 福祉住環境と生活支援 <input type="checkbox"/> 障害の理解Ⅰ <input type="checkbox"/> 医療的ケアⅠ	□介護過程Ⅰ	◎介護福祉論Ⅱ ◎社会保障論Ⅰ	<input type="checkbox"/> 地域介護実習 <input type="checkbox"/> 介護総合演習Ⅱ ◇地域交流演習
	前期	◇介護導入実習 <input type="checkbox"/> 介護総合演習Ⅰ △初年度教育Ⅰ <input type="checkbox"/> 人間関係とコミュニケーションⅠ ◇介護福祉論Ⅰ <input type="checkbox"/> 介護の基本Ⅰ	◇コミュニケーション技術Ⅰ ◇生活支援技術の基本 <input type="checkbox"/> 生活支援技術Ⅰ <input type="checkbox"/> 生活支援技術Ⅱ ◇家政の生活支援Ⅰ <input type="checkbox"/> 発達と老化の理解Ⅰ <input type="checkbox"/> こころとからだのしくみⅠ-1 <input type="checkbox"/> こころとからだのしくみⅠ-2	□介護過程総論	◎現代社会と福祉	◇介護基礎実習 ◇介護導入実習 ◇地域生活と文化
入学	<input type="checkbox"/> ○ひとの命と健康を考える <input type="checkbox"/> ひとの可能性を考える <input type="checkbox"/> ひとの生活を考える ◎ひとの権利を考える △学修の基礎力を培う					
入学生の受け入れ方針(AP)	・介護福祉や社会福祉に関心をもち学ぶ意欲をもっている ・人の立場になって考えることができる ・人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる ・人と共に協力して活動に取り組むことができる ・入学後の学修に必要な基礎学力がある					

図3 カリキュラムマップ

2) 各科目の「到達目標」と「5つの到達目標」との関係

「5つの到達目標」を達成するために各科目の到達目標を明記し、より具体的なものとしている。

(表3 各科目の「到達目標」と「5つの到達目標」参照)

表3 各科目の「到達目標」と「5つの到達目標」

授業科目名	科目の到達目標	「5つの到達目標」に全て関係する				
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
地域生活と文化	1. 地域の気候や歴史や文化が人々の生活にどのように影響を及ぼしているのかが理解できる。					◎
初年度教育Ⅰ	1. 聞く力・書く力・話す力・伝える力をつけ、短期大学での学び方の基礎が身につく。	◎				
初年度教育Ⅱ	1. 様々な種類の情報源の中から必要な情報にアクセスし、その情報を正しく評価でき、活用する能力が身につけている。また読むこと・調べること・伝えることを通じ、考える力が身につけている。	◎				

授業科目名	科目の到達目標	「5つの到達目標」に全て関係する				
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
キャリアデザイン入門	1. 学生と社会人の違いを理解し、働くことの意味について理解することができる。 2. 就職活動に必要な知識・技術（マナー等を含む）を身につける。 3. 将来を見据え、自分自身の進路選択・進路設計を考えることができる。	◎	◎			
キャリアデザインⅠ	1. 社会的・職業的な自立に向けて必要となる就職に関するスキル（雇用・面接等の知識・技術）を身につける。 2. 社会的・職業的な自立に向けて必要となるコミュニケーションの知識・技術を理解し、深めることができる。	◎	◎			
キャリアデザインⅡ	1. 介護福祉士にとって必要となる知識・技術の全体像を理解することができる。 2. 介護福祉士にとって必要となる知識・技術の定着と理解を深めることができる。		◎			
キャリアデザインⅢ	1. 介護福祉士にとって必要となる知識・技術の全体像を理解することができる。 2. 介護福祉士にとって必要となる知識・技術の定着と理解を深めることができる。		◎			
人間の尊厳と自立	1. 人権思想・福祉理念の歴史の変遷を理解し、人間の尊厳・人権尊重及び権利擁護の考え方を説明できる。 2. 人間にとっての自立の意味と本人主体の観点から、尊厳の保持や自己決定の考え方を説明できる。	◎				
人間関係とコミュニケーションⅠ	1. 対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得する。	◎	◎			
人間関係とコミュニケーションⅡ	1. 介護の質を高めるために必要なチームマネジメントの基礎的な知識を理解し説明できる。	◎	◎			
現代社会と福祉	1. 個人の暮らしが家族、地域、社会との関連で成り立っていることを説明できる。 2. わが国の社会保障の基本的考え方、しくみについて説明できる。 3. 地域共生社会や地域包括システムの基本的な考え方を説明できる。				◎	
社会保障論Ⅰ	1. 社会保障制度の体系と社会保険について説明できる。 2. 基本的な介護保険のしくみが説明できる。				◎	
社会保障論Ⅱ	1. 医療保険、年金保険、労働保険のしくみについて説明できる。 2. 障害者福祉制度について目的としくみについて説明できる。				◎	
社会保障と人間の生活	1. 高齢者・障害者等の権利擁護の視点から、介護実践に関連する制度の目的としくみについて説明できる。				◎	
人間の発達と心理的支援	1. 生涯発達の視点から人の発達の基礎を理解できる。 2. こころの機能を様々な視点から理解し、自己理解や他者理解に役立てることができる。 3. さまざまな心理的な支援方法について理解できる。	◎	◎			
地域交流演習	1. 地域福祉活動に参加し、地域の人々の生活に触れ、地域から学ぶことができる。	◎				◎
介護福祉論Ⅰ	1. 尊厳を保持し自立を支援するという介護福祉の基本理念を説明できる。 2. 専門職としての倫理や使命を理解し、説明できる。	◎				
介護福祉論Ⅱ	1. 地域や施設・在宅など生活の場の多様性と介護福祉士の果たす役割について説明できる。 2. 対象となる人の生活ニーズにあわせた社会資源について説明できる。 3. 災害時の介護福祉士の役割と機能について説明できる。				◎	
介護の基本Ⅰ	1. 介護を必要とする人の生活の個性、多様性、社会とのかかわりを説明できる。	◎				
介護の基本Ⅱ	1. 対象者の持てる力を把握した支援と自立への環境整備の方法が説明できる。		◎			
介護の基本Ⅲ	1. リスクマネジメントの必要性を説明できる。 2. 介護実践の場において、危険予知及び危険回避がわかる。 3. 介護従事者の安全を守る方策や、求められる健康管理について説明できる。		◎			
介護の基本Ⅳ	1. 対象となる人のニーズにあわせた社会資源について説明できる。 2. 介護を必要とする人の地域を基盤とした生活を支えるしくみがわかる。		◎			◎
コミュニケーション技術Ⅰ	1. 介護を必要とする人の理解や援助関係におけるコミュニケーションについて学ぶとともに、基本的な技法を習得する。		◎			◎
コミュニケーション技術Ⅱ	2. 障害の特性に応じたコミュニケーション方法がわかる。また、家族やチームにおけるコミュニケーションの特性を理解し、適切な対応ができる。		◎			◎
生活支援技術の基本	1. 自立に向けた生活支援の基本となる知識や技術を修得し、利用者の寝床環境を整える技術を修得できる。 2. 利用者の状態や環境に応じた福祉用具の意義と活用に必要な知識を修得できる。		◎	◎		
生活支援技術Ⅰ	1. 自立に向けた移動の介護方法を修得し、生活の拡大を図る援助について考えることができる。		◎			
生活支援技術Ⅱ	1. 自立に向けた身じたくの介護に関する知識と技術を修得できる。		◎			
生活支援技術Ⅲ	1. 自立に向けた入浴・清潔保持の介護に関する知識と技術を修得できる。		◎			
生活支援技術Ⅳ	1. 自立に向けた食事と排泄の介護に関する知識と技術を修得できる。		◎			
生活支援技術Ⅴ	1. 自立に向けた休息・睡眠及び人生の最終段階における介護に関する知識と技術を修得できる。	◎	◎			
生活支援技術Ⅵ	1. 利用者の疾病、障害に応じた介護の知識、技術を修得し、介護福祉の視点から自立に向けた介護の必要性を学ぶ。		◎			
家政の生活支援Ⅰ	1. 自立に向けた家事の介護に関する知識と技術を修得できる。		◎			
家政の生活支援Ⅱ	1. 利用者の心身の状況に応じた食品選択及び食事形態を判断できる。また、実践につながる調理技術と食事介助の留意点の説明ができる。		◎			
福祉住環境と生活支援	1. 高齢者や障害者等に配慮した居住環境や生活環境について理解できる。 2. 事例を通じて、福祉住環境整備の実態を理解できる。 3. 福祉用具や自助具の意義と活用について理解できる。		◎			◎
介護過程総論	1. 介護過程の意義・目的を理解できる。 2. 介護過程を展開するための一連のプロセスを理解できる。 3. ICF（国際生活機能分類）と介護過程の関連を理解できる。		◎	◎		

授業科目名	科目の到達目標	「5つの到達目標」 に全て関係する ◎=特に重要な事項 ○=重要な事項				
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
介護過程Ⅰ	1. 介護過程の展開方法を理解できる。 2. 個別の事例を通じて、介護過程とチームアプローチの関係について理解できる。 3. 主として運動機能障害のある利用者の事例を通して、実際に介護過程を展開できる。			◎		
介護過程Ⅱ	1. 介護過程の展開方法について説明できる。 2. 個別の事例を通じて、介護過程とチームアプローチの関係について理解できる。 3. 主として感覚機能障害のある利用者の事例を通して、実際に介護過程を展開できる。			◎		
介護過程Ⅲ	1. 介護過程の展開方法について説明できる。 2. 個別の事例を通じて、介護過程とチームアプローチの関係について理解できる。 3. 主として認知症のある利用者の事例を通して、実際に介護過程を展開できる。			◎		
介護過程Ⅳ	1. 介護過程とケアマネジメントの相違と関係性を理解できる。 2. 介護福祉職チームと多職種連携・協働について理解できる。 3. 地域連携の事例を通じて、介護過程とチームアプローチ、地域の社会資源の活用方法について理解できる。			◎	○	
介護総合演習Ⅰ	1. 実習に関する基礎知識を身につけると共に、実習に対する意識を高めることができる。 2. 事前学習・事後学習を行うことで、実習の準備と学んだことの振り返りができる。	◎	○			
介護総合演習Ⅱ	1. 各領域で学んだ知識を統合し、実習に関する基礎知識を学修することができる。 2. 事前学習・事後学習を行うことで、実習での学びを深めることができる。		◎	○		○
介護総合演習Ⅲ	1. 介護総合実習の目的・内容を理解し、実習に臨む準備ができる。 2. 実習後の問題意識を介護研究につなげることができる。 3. これまでの実習等から自分の介護観をもつことができる。		◎	◎	◎	○
介護総合演習Ⅳ	1. 介護総合実習での学びから課題を追求し介護福祉・事例研究のまとめを行うことができる。 2. 実習の成果を発表することができる。 3. これまでの実習等から自分の介護観をもつことができる。		◎	◎	◎	○
介護導入実習	1. 様々な介護現場において利用者や家族とコミュニケーションを行い、地域における利用者の生活を理解できる。 2. 多職種協働の実践の中で介護福祉士の役割を理解できる。	◎	○			◎
介護基礎実習	1. 生活支援を行うための基礎的な知識と技術を学ぶことができる。 2. 施設と地域の関わりについて学ぶことができる。 3. 多職種協働の実践の中で介護福祉士の役割を理解できる。		◎			◎
地域介護実習	1. 利用者の地域での暮らしにふれ、地域での生活を支える事業所の役割を理解できる。 2. 利用者の生活環境や個性を理解し、その人らしいより良い生活について考えることができる。 3. 地域における利用者の生活を支えるための多職種協働やチームケアを体験的に学び、その重要性が理解できる。	◎	◎			
個別援助実習	1. 介護過程を展開し、利用者の望む生活支援を総合的に考えることができる。 2. 利用者の個別理解を深め、適切な生活支援を実施することができる。 3. 利用者本位のサービスを提供するため多職種とのチームケアの必要性を理解できる。 4. 利用者の生活を地域との関わりから考え、地域で生活するという視点を理解できる。 5. 地域社会における施設の役割を理解できる。		◎	◎	◎	◎
介護総合実習	1. 利用者の個別理解を深め、利用者の望む生活の実現に向けて介護過程を実践できる。 2. 利用者や生活の場に応じた生活支援を各領域で学んだ知識と技術を統合して実践できる。 3. 利用者本位のサービスを提供するため介護福祉士の役割を理解した上で多職種との協働を実践的に学ぶことができる。 4. 利用者の生活を地域との関わりから考え、地域における生活支援という視点で援助できる。 5. 地域社会における施設の役割を理解できる。		◎	◎	◎	◎
発達と老化の理解Ⅰ	1. 人間の成長と発達の基礎的な理解ができる。 2. 老化に伴うからだの変化と生活について理解ができる。		◎			
発達と老化の理解Ⅱ	1. 人間の成長と発達を基礎的な理解ができる。 2. ライフサイクルの各期における心理的・社会的な特徴と発達課題について理解ができる。 3. 老化に伴うこころの変化と生活について理解ができる。		◎			
認知症の理解Ⅰ	1. 認知症の取り巻く状況として、認知症の歴史や理念、行政の方針と施策を含む社会的環境等について理解できる。 2. 認知症の医学的・心理的な基礎的な理解ができる。 3. 認知症のある人の心理や医学的・社会的側面に関する基礎的な知識が理解できる。		◎			
認知症の理解Ⅱ	1. 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活への影響を理解できる。 2. 認知症の人の生活・家族・地域や社会への関わりへの影響より、その人の認知症ケアを考え理解することができる。 3. 認知症の人や家族に対する地域でのサポート体制や多職種連携と協働について学ぶことができる。			◎		○
障害の理解Ⅰ	1. 障害者福祉の基本理解ができる。 2. 身体障害（肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、内部障害）のある人の医学的・心理的・社会的状況など基礎的な理解と生活と障害の特性に応じた支援が理解できる。		◎			○
障害の理解Ⅱ	1. 精神障害、発達障害、知的障害、難病等がある人の医学的・心理的・社会的状況など基礎的な理解と生活と障害の特性に応じた支援が理解できる。 2. 障害者の生活支援のための多職種連携と協働の重要性について理解できる。		◎			○
こころとからだのしくみⅠ-1	1. 人体の構造と機能について理解できる。 2. 移動に関連したこころとからだのしくみについて理解できる。 3. 移動に関連した機能低下や障害が身体に及ぼす影響について理解できる。		◎			

授業科目名	科目の到達目標	「5つの到達目標」に全て関係する				
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
こころとからだのしくみⅠ-2	1. こころのしくみについて理解できる。	◎				
	2. こころについて考え、こころと行動のつながりについて理解できる。	◎				
	3. 身じたくに関連したこころとからだのしくみについて理解できる。	◎				
	4. 身じたくに関連した機能低下や障害が身体に及ぼす影響について理解できる。	◎				
こころとからだのしくみⅡ-1	1. 食事・排泄に関連したこころとからだのしくみについて理解できる。	◎				
	2. 食事・排泄に関連した機能低下や障害が身体に及ぼす影響について理解できる。	◎				
こころとからだのしくみⅡ-2	1. 入浴・清潔保持、休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみについて理解できる。	◎				
	2. 入浴・清潔保持、休息・睡眠に関連した機能低下や障害が身体に及ぼす影響について理解できる。	◎				
	3. 人生の最終段階におけるこころとからだのしくみと、生活支援を行う上で必要となる基礎的な知識を理解できる。	◎				
医療的ケアⅠ	1. 介護職の医療的ケア実施の経緯、制度等を理解できる。	◎		○		
	2. 安全な療養生活ができるように、個人の尊厳を守り感染予防等の医療的ケアの基礎知識を理解できる。	◎		○		
医療的ケアⅡ	1. 喀痰吸引の根拠に基づく知識を深め、予防的ケアや適切なケア方法が理解できる。			◎		
	2. 喀痰吸引の根拠のある知識を基に、安全な実施手順が理解できる。			◎		
医療的ケアⅢ	1. 経管栄養の根拠に基づく知識を深め、適切なケア方法が理解できる。	◎				
	2. 経管栄養の根拠のある知識を基に、安全な実施手順が理解できる。	◎				
医療的ケアⅣ	1. 喀痰吸引（口腔・鼻腔・気管カニューレ内部の吸引）の演習評価基準に達し適切な援助ができる。	◎				
	2. 経管栄養（胃ろう・経鼻経管栄養）の演習評価基準に達し、適切な援助ができる。	◎				

6. 教育課程と資格の取得及び卒業要件

1) 教育課程得

介護福祉学科の教育課程は、学則第17条に定める「別表第2」のとおり構成されている。この「別表第2」に規定された授業科目を卒業要件および介護福祉士国家試験受験資格取得要件に基づいて2年間のなかで履修していくことになる。表4に「別表第2」を示す。

表4 松本短期大学介護福祉学科教育課程（別表第2）

領域	授業科目の区分等	5つの柱	授業科目	授業形態	単位数					時間数	備考	
					開設		卒業		介護福祉士			
					単位	必修	選択	必修	選択			
教養科目		ひとの生活を考える	地域生活と文化	講義	2	2		2		30		
			学修の基礎力を培う	初年度教育Ⅰ	演習	1	1		1		30	
		初年度教育Ⅱ		演習	1	1		1		30		
		キャリアデザイン入門		演習	1	1		1		30		
		キャリアデザインⅠ		演習	1		1		1	30		
		キャリアデザインⅡ		演習	1		1		1	30		
		キャリアデザインⅢ	演習	1		1		1	30			
小計					8	5	3	5	3	210		
人間と社会	人間の尊厳と自立	ひとの権利を考える	人間の尊厳と自立	講義	2	2		2		30		
	人間関係とコミュニケーション	ひとの可能性を考える	人間関係とコミュニケーションⅠ	演習	1	1		1		30		
			人間関係とコミュニケーションⅡ	演習	1	1		1		30		
	社会の理解	ひとの権利を考える	現代社会と福祉	講義	2	2		2		30		
			社会保障論Ⅰ	講義	2	2		2		30		
			社会保障論Ⅱ	講義	2	2		2		30		
			社会保障と人間の生活	演習	1	1		1		30		
	人と社会に関する科目	学修の基礎力を培う	人間の発達と心理的支援	講義	2	2		2		30		
		ひとの生活を考える	地域交流演習	演習	1	1		1		30		
小計					14	14	0	14	0	270		